

愛いっばいの1万年ロマン

標茶縄文会

会報 第42号（発行：令和5年7月7日）



標茶町縄文会会員の皆様へ

会長 渡辺幸子

引き続き会長に選出されたこと
のご報告と決意の一端を述べさせて
いただきます。

新型コロナウイルス感染症が、
5類に格下げとなりました。人々の
顔を覆い隠していたマスクの使
用も自己判断となり、巷に笑顔が
増えるはずでした。しかし、無情に
も第9波到来の報。まだまだ、予防
対策は欠かせません。今のところ、
重要な活動の場である「子どもの
夢を育てる祭り」は、7月23日開
催される予定です。コロナ禍の三
年間に培った感染症予防対策を確
実に実行し、子どもたちの笑顔が
見たいものです。

そして、総会で承認されたとお
り、開館五周年記念事業をはじめ
とする博物館事業への協力を中心
に、一年間緩やかに活動を進めて
参りましょう。

結びに、標茶縄文会と

皆さまのご健勝を祈念

申し上げます。



総会終わる

去る4月16日、標茶町開発センター第
二研修室において、総会を開催しました。
標茶在住の会員を中心に十二名が出席
し、今年度の活動方針等について熱心に
議論しました。特に、会員の高齢化など
によって、縄文会として事業を主催するこ
とが負担となっていることに多くの意見
が出ました。

会の存続を不安視する会員もいました
が、標茶博物館のサポーターとして「やり
たいことを楽しく」のスタイルで継続す
ることになりました。今年度が新しい縄
文会にとつての「元年」です。

ニタイ・ト

祝 開館五周年!!

7月1日、標茶博物館の開館5周年
を祝う記念事業が挙行されました。教
育委員会からの協力要請をうけ、当会
会員も式典スタッフとして活躍しま
した。ゲストの高橋恵子さん（当会特
別会員）と関根摩耶さんの接待をはじ
め、熊谷会員がステージを彩る生け花
のモニュメントを作成するなど、記憶
に残るイベントとなりました。



子どもの夢を 育てる祭り

7月23日10時、駒が丘公園
を会場に開催されます。

時節柄、恒例の「縄文クッキ
ー」のような飲食物の提供を
縮小し、「勾玉作り」体験を中
心に参加します。お手伝いし
ていただける方を募集中で
す。詳細は、新事務局長 佐藤
光子さんまで。



編集後記

以前の生活が戻ってきまし
た。傷跡と多くの教訓と新し
い習慣をもたらしたウイルス
は、今もどこかで変異という
「進化」を続けているはず。油
断せず、この三年間の経験生
かさなければなりません。

会費納入

お願いします。

